

(様式 2)

議事録番号

提出 2013 年 5 月 1 日

会合議事録

研究会名：スピン・電子運動量密度研究会

日 時：平成 25 年 3 月 27 日

場 所：広島大学（日本物理学会第 68 回年次大会 XL 会場）

出席者：（議事録記載者に下線）

安居院あかね（JAEA）、伊藤真義（JASRI）、北原 功一（東京大）、小泉昭久（兵庫県立大）、小林義彦（東京医科大）、櫻井吉晴（JASRI）、櫻井浩（群馬大）、鈴木宏輔（群馬大）、浅井吉蔵（電通大）、藤田全基（東北大）、松田 和博（京大）、石野宏和（岡山大）、芳賀芳範（JAEA）、山瀬博之（NIMS）

計名 14 名

議題：BL08W コンプトン散乱の研究者を中心に、先端研究情報の共有と短期・中期の方針を見出す目的で以下のテーマで研究会を行い、新しい検出器の可能性、J-PARC と相補的に利用する課題、最近のアクチナイド化合物の研究の先端、BL08W の現状などについて情報共有し議論した。

議事内容：

超伝導検出器の現状と高感度高分解能 X 線検出の可能性（岡山大学自然科学研究科 石野宏和）では、素粒子実験で利用されている高分解能エネルギー分散型の検出器をコンプトン散乱 X 線の分光に利用する可能性について議論した。**コンプトン散乱と中性子散乱でみる物理**（東北大学金属材料研究所 藤田全基）では J-PARC と相補的に利用する課題として採択された銅酸化物超伝導体における電子状態をコンプトン散乱と中性子散乱で相補的観測する狙いについて議論された。**アクチナイド化合物研究の現状**（日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター 芳賀芳範）アクチノイド化合物について、コンプトン散乱を利用した研究について報告があった。**SPring-8 と BL08W の現状**（高輝度光科学研究センター 伊藤真義）では簡単に BL08W の現状が報告され、2013A 期の運転について説明された。以上の研究会から先端的研究の共有と、新しい検出器の開発に向けた中期的方向性が示された。

日本物理学会第68回年次大会
平成25年3月27日 広島大学東広島キャンパスXL会場

スピン・運動量密度研究会

17:30-18:30

高輝度光科学研究センター 伊藤真義
Spring-8とBL08Wの現状

岡山大学自然科学研究科 石野宏和
超伝導検出器の現状と高感度高分解能X線検出の可能性

東北大学金属材料研究所 藤田全基
コンプトン散乱と中性子散乱でみる物理

日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター 芳賀芳範
アクチナイド化合物研究の現状

20:00 懇親会

だんまや水産 広島駅前店 (<http://www.hotpepper.jp/strJ000522356/>)
広島駅南口徒歩2分。広島東郵便局前の、コーヒー屋さんの2階になります。

TEL: 050-5834-4776

広大西口(18:44)—JR西条(18:59)、(電車)JR西条(19:13)—JR広島(19:49)